

## 在メダン日本国総領事館 海外安全対策情報（令和3年10月～12月）

### 1 治安情勢

#### (1) 一般犯罪

邦人の方が被害に遭われた事件に関する情報はありませんでした。

報道によると、前期同様、各種犯罪の中でも、薬物犯罪（使用、所持、密輸）、窃盗（乗り物盗、侵入盗）が頻発していました。

人出や人の移動が多くなる年末年始は一般的に犯罪が発生する可能性が高まる傾向にあるとされていますが、治安の悪化は特に見られませんでした。

#### (2) テロ情勢

報道によると、12月中、警察の捜査により、北スマトラ州メダン市・ビンジャイ市・タンジュンバライ市・ランカット県内で9人（テロ組織ジェマー・イスラミア（JI）メンバー）、リアウ諸島州バタム市内で4人のテロ容疑者が逮捕されました。

当地においては、2019年のメダン市警察における自爆テロ事件以降、事件の発生はなく、現在、具体的な脅威情報にも接していませんが、引き続き、当地においてテロの標的とされている軍・警察関連施設及び宗教施設には、不必要に近寄らないようにするとともに、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど自らの安全確保に努める必要があります。

#### (3) デモ情報

11月末に各地の2022年最低賃金が公表されて以降、州・市・県庁舎や労働局前等で、賃金上昇を求めるデモが数十人から数百人の規模でしばしば発生しました。

デモ参加者の一部が暴徒化する可能性もありますので、付近には近づかないようにしてください。

#### (4) 交通事故

邦人の方が被害に遭われた事故に関する情報はありませんでした。

#### (5) 災害

当館管轄内で国家防災庁の噴火警戒レベル3（地震・火山活動が活発化している状態）に該当し、入山規制等が実施されているのは、2021年12月末現在、北スマトラ州カロ県所在のシナブン山のみです。

今期は雨期で降水量が多く、その影響により、各地において洪水や土砂崩れが発生しました。10月下旬から11月中旬に北スマトラ州メダン市と観光地であるブラスタギ（カロ県）をつなぐ道路において発生した土砂崩れでは死者が出ました。

お出かけの際は、事前に噴火警報や天気予報の確認が必要です。

## 2 対日感情

全般的に良好な状況に変化は見られませんでした。

## 3 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報はありませんでした。

- ※ 事件、事故、災害等の被害防止対策についてはこちら（安全の手引き（2021）  
<https://www.medan.id.emb-japan.go.jp/files/100136347.pdf>）をご覧ください。